

第7次埼玉県地域保健医療計画
『南部保健医療圏 圏域別取組』取組実績
(令和5年度)

【重点取組：8項目】

- 1 歯科保健対策・・・・・・・・・・P 1～P 6
- 2 がん医療・・・・・・・・・・P 7～P 13
- 3 精神疾患医療・・・・・・・・・・P 14～P 20
- 4 感染症対策・・・・・・・・・・P 21～P 26
- 5 新型コロナウイルス感染症対策・・P 27～P 31
- 6 災害時医療・・・・・・・・・・P 32～P 37
- 7 在宅医療の推進・・・・・・・・・・P 38～P 45
- 8 医薬品等の安全対策・・・・・・・・P 46～P 50

1 歯科保健対策

目 標 生涯を通じて質の高い生活を送ることができるよう歯科口腔に関する対策を充実します。また、歯科健診・相談体制の充実を図ります。

主 な 取 組

- ・生涯を通じた歯科口腔保健対策の充実
- ・妊娠期から子育て期における母子の歯科口腔保健の推進
- ・フッ化物応用等をはじめとするう蝕予防対策
- ・在宅歯科医療サービスの充実

実 施 主 体 医師会、歯科医師会、市、保健所

[川口市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・川口市が主催して実施される健康に係る事業に参画するとともに、健康相談事業等に医師を派遣するなど、事業に積極的な支援を行うことにより、市民の健康づくりに貢献する。 ・川口歯科医師会主催の多職種連携講演会を後援していく。 ※新型コロナウイルス感染症対策については「がん医療と同様」
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	・骨と歯の健康を考える会 in川口 開催 第2回 令和5年7月28日 第3回 令和6年1月19日 ・川口市が主催して実施される健康に係る事業に参画するとともに、健康相談事業等に医師を派遣するなど、事業に積極的な支援を行うことにより、市民の健康づくりに貢献する。 ・健康フェスティバルへの参加協力 内科医師と整形外科医師を派遣し、健康相談事業を実施する。 令和5年9月24日 ・市産品フェアへの参加協力 令和5年10月27日～29日 川口オートレース場 ・介護フェスティバルへの後援 令和5年11月15日 ・川口歯科医師会主催の多職種連携講演会に後援していく。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨田市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・歯周病予防のための講習会の開催 ・全身疾患と歯周病との関係等の研修会の開催
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績(令和5年度)	・蕨田歯科医師会と「M&D」研修会共催 ・蕨田歯科医師会主催の講演会への参加
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口歯科医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・川口市妊産婦歯科健診受診者数の増加 ・保育所・幼稚園でのフッ化物洗口実施率の増加 ・小学校・中学校でのフッ化物洗口の実施 ・障害者及び施設での歯科健診・歯科保健指導の増加 ・成人歯科健診受診率の増加 ・高齢者への口腔機能維持活動の推進
関連する指標	(現状を示す指標) フッ化物洗口を実施する小学校・中学校の割合 25%
	(目標とする指標) フッ化物洗口を実施する小学校・中学校の割合 50%
年度ごとの取組実績(令和5年度)	・マタニティママの歯の健康教室の実施 ・フッ化物塗布を実施する保育所・幼稚園・認定こども園の評価 ・成人歯科健診の受診率を増やすための周知活動 30歳以上から18歳以上に対象者が拡充された ・障害者及び施設での歯科健診・歯科保健指導の実施 ・特別支援学校での歯科健診と歯科保健指導の実施 ・本会が受託している介護予防事業のブロック増を目指す ・学習支援教室に於ける「子供の健口支援事業」を実施
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨田歯科医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・各ライフステージにおける歯科保健について充実を図ると共に、それらがシームレスに行えるよう事業を考えていくことを基本理念とすること。 ・妊娠期から子育て期に関しては、埼玉県・埼玉県歯科医師会作成の「お口の母子手帳」を有効に活用し、妊産婦健診や母子保健法で定められている各年代の健診にて口腔保健の啓発に努める。 ・15年来フッ化物応用については各行政と検討を続けているが、諸事情を考慮し、ポジティブなスタンスで取り組んでいくよう努力したいと考えている。各市共に“フッ化物塗布”については事業が少し進んできているが、
--	--

	今後は当地区においても埼玉県の小児う蝕予防対策事業を参考に保育園、幼稚園、小学校中学校におけるフッ化物洗口の実現に向けて取り組んでいきたいと考えている。 ・成人歯科保健に関しては、日本歯科医師会推進の“標準的な歯科健診・保健指導”の導入や、歯科検診においては、改訂された“歯周病検診2015”を利用し進めていきたいと考えている。 ・障害者歯科については、「障害者歯科相談医制度」を有効活用し、障害者歯科相談医の行動を更に活性化できるよう努力したいと考えている。 (相談医による施設等の健診、研修など) ・高齢者に関しては「口腔機能の向上(口腔ケア)」を中心に、市民公開講座等により啓発を行い、施設や通所サービスにおいても歯科医師会の方に委託が来るよう努力したいと考えている。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・南部保健所歯科口腔保健連携会議については、今年度も対面方式で開催することができた。今後もグループワーク等の機会を利用しながら、各方面からの当地区における歯科医療の課題を吸い上げると共に、埼玉県歯科医師会の各種歯科保健事業について改めて説明、周知を行い、管内の歯科保健活動への更なる理解を求めて行きたい。 ・歯ッピー蕨、戸田市健康福祉の杜まつり共に無事に開催され、盛況のうちに終了することができた。今後もこれらのイベントを通して市民への歯科口腔保健意識の啓蒙活動を、引き続き積極的に行っていききたい。 ・戸田市の「糖尿病性腎症の重症化予防を目的とした歯科に係る取り組み」についても、糖尿病と歯周病の相関等に触れながら、対象者の当該疾患に対する理解を深められるように適宜指導を行っていききたい。 ・埼玉県歯科医師会主催の「埼玉県歯科口腔保健推進計画に基づく疾患別の講習会」等の周知を行い、講習を修了した登録医療機関を増やすことに努めた。 ・協会けんぽの特定健診会場での歯科健診が、一昨年度から蕨市でも行われるようになったが、今年度も対象者に対しては口腔疾患と生活習慣病との関連や、特定保健指導の必要性について言及しながら、広く理解が得られるように努めた。 ・今年度は埼玉県及び埼玉県歯科医師会主催の「小児期からのう蝕予防研修会」が戸田市で開催され、菅原文仁戸田市市長や佐藤太信戸田市議会議員にもオブザーバーとして参加いただくことができた。このような事業開催の機会を有効に活用し、当地区における保育園、幼稚園、小・中学校におけるフッ化物洗口の実現に向けて広く理解を求めていききたい。
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[川口市長寿支援課]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	高齢者に対し、介護予防を目的とした口腔機能向上の必要性についての教育や口腔清掃の自立支援、摂食・嚥下機能等の向上支援に関するプログラムによる口腔教室を実施する。
関連する指標	(現状を示す指標) 特になし
	(目標とする指標) 特になし
年度ごとの取組実績(令和5年度)	65歳以上で要介護認定を受けていない高齢者を対象に、口腔機能の向上を目的とした「口腔教室」を市内公民館等で22教室実施した。(1教室6回、参加人数148人) ※コロナウイルス感染症拡大防止のため、これまで定員を本来の半数程度に制限して教室を実施していたが、10月から通常の定員数に戻して実施している。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口市保健所健康増進課・地域保健センター]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	◎記載のないものは通年実施 ・妊婦歯科健康診査 月1回 ・1歳6か月児歯科健康診査 ・フッ化物塗布 ・1歳6か月児歯科健診時事後指導教室(平成30年度、令和元年度のみ) ・3歳児歯科健康診査 ・成人歯科健診・歯科ドック ・口腔がん検診 ・訪問歯科健康診査 ・川口市歯と口の健康フェスティバル 年1回(6月第1日曜日) (歯科健康相談、ブラッシング指導等)・川口市歯と口の健康フェスティバル 年1回(6月第1日曜日)実施 歯科健康相談、フッ化物体験、ブラッシング指導等
関連する指標	(現状を示す指標) 受診率、受診者数、来場者数
	(目標とする指標) 前年度を上回る受診率、受診者数、来場者数
年度ごとの取組実績(令和5年度)	・妊婦歯科健康診査：12回 113名 ・1歳6か月児歯科健康診査受診率：68.3% ・3歳児歯科健康診査受診率：84.7% ・フッ化物塗布受診者数：5,922人 ・成人歯科健診診査受診者数：4,082人 ・歯科ドック受診者数：1,579人 ・口腔がん検診受診者数：1,935人 ・訪問歯科健康診査受診者数：157人 ・川口市歯と口の健康フェスティバル来場者数：825人
自己評価	A：ほぼ程度目標が達成できた

[蕨市保健センター]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・「健康密度も日本一のまちへ」を目指して、第2次わらび健康アップ計画（2018～2022年度）に基づき、8020歯の健康づくり運動を推進する。 【5年間の重点的な取組（第2次わらび健康アップ計画より）】 ○歯の喪失予防のために、歯周疾患検診の受診率向上を図る。 ・受診票送付だけでなく、受診勧奨通知の送付を行う。 ○子どもの頃から歯を健康に保つための生活習慣を身につける。 ・妊娠期から子どもの歯の健康について普及啓発を行う。 ・フッ化物塗布（2歳）の受診率向上のため、未受診児への受診勧奨送付及び送付内容も工夫する。
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	【歯周疾患検診】 ・対象者に8月と10月に受診勧奨通知を発送 ・歯周疾患検診とがん検診の受診券を一体型で通知 【20歳の歯科疾患予防推進事業】 ・希望者にはパノラマレントゲン検査を実施 ・成年式でのチラシ配布による受診勧奨 ・対象者に2月に受診勧奨通知を発送 【2歳児フッ化物塗布事業】 ・講座、赤ちゃん訪問、1歳6か月児健診実施時に周知 【令和5年度歯周疾患検診（節目）】 受診率：8.7% 【令和5年度20歳の歯科疾患予防推進事業】 受診率：12.9% 【令和5年度2歳児フッ化物塗布事業】 受診率：43.8% 【令和5年度妊婦歯科健診】 受診率：30.3%
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市福祉保健センター・戸田市親子健やか室]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	【福祉保健センター】 ・妊娠期から乳幼児期の歯科保健の推進 ・幼児歯科検診（2歳6か月児歯科健診含）の充実 - 各健診でのう蝕罹患を低下 ・児童・生徒のう蝕予防の推進 - 小・中学校での歯科保健の推進 ・成人歯科保健の充実 【親子健やか室】 ・妊娠期から乳幼児期の歯科保健の推進 ・幼児歯科健診の充実 - 各健診でのう蝕罹患を低下
--	--

	・児童生徒のう蝕予防の推進 小中学校での歯科保健の推進
関連する指標	(現状を示す指標) 幼児歯科健康診査受診率 3歳児でのう蝕の無い者の割合 (目標とする指標) 歯科健康診査の受診率 80% 3歳児でう蝕の無い者の割合 90%
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	【福祉保健センター】 ① 国の示す40・50・60・70歳と30歳（戸田市独自）に対し、9月～11月で成人歯科健診を実施。また9月までの30歳・40歳の未受診者に対して再勧奨を10月中旬に実施している。受診者 897人 ◎歯科健康教育(出前講座、依頼教育、健康教室)を実施 337名 ◎いきさわか相談を実施 81名 ② 通いの場において、オーラルフレイル予防の講和及び実技実習を実施 【親子健やか室】 ① 母子健康手帳交付時の面接にて歯周病予防の周知、ワンポイントブラッシング指導を実施 ② 乳幼児歯科健康診査(1歳8か月1066人・2歳6か月943人・3歳6か月1183人)の実施。 フッ化物歯面塗布(1歳8か月923人・2歳6か月758人)の実施。併せて令和5年度からは、う蝕のある児へもフッ化物歯面塗布を実施。 ③ 小学校2年生の親子対象に「第1大臼歯の虫歯予防」の講話、模型上でブラッシング指導を実施
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[埼玉県南部保健所]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間：平成30年度～令和5年度	・歯科口腔保健推進事業：会議の開催（1回／年）
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・歯科口腔保健連携会議の開催 日 程 令和6年2月15日 参加者 管内歯科医師会、市保健衛生主管課担当者、障害福祉課、介護保険課、地域包括支援センター等 22名 内 容 「埼玉県歯科医師会地域保健部の活動内容及び妊産婦における生活歯援プログラムの有用性について」 「蕨・戸田地区における埼玉県在宅歯科医療推進整備事業の現状」 「摂食嚥下リハビリテーションを視点とした言語聴覚士と歯科領域の連携」 グループワーク 「歯科口腔保健の現状と課題 ～その解決に向けて～」
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

2 がん医療

目 標

がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんに向き合い、がんに負けることのない社会の実現を図るため、死亡原因の第1位であるがんの予防対策を推進するとともに、医療体制を充実し、がんの罹患率と死亡率の減少を目指します。また、がんに関する情報や医療資源等の情報提供体制及び相談支援体制の整備を図ります。

主 な 取 組

- ・受動喫煙防止対策実施施設等認証制度及び禁煙外来、禁煙支援等による予防対策（喫煙による健康被害の回避）の推進
- ・がん検診及び精密検査の受診率並びに検診等の質の向上
- ・地域がん診療連携拠点病院を中心とした医療機関の連携
- ・がん患者とその家族の療養生活の質の向上

実 施 主 体

医師会、歯科医師会、薬剤師会、市、保健所

〔川口市医師会〕

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・各種がん検診の実施、検診受診率の向上 ・肺がん結核検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、胃がん内視鏡検診等について、市民の受診機会の拡充等を図るため、引き続き多くの医療機関で毎年6月から翌年2月（大腸がん検診、胃がん内視鏡検診は4月から翌年2月）にかけて実施していく。 ・肺がん結核検診、胃がん内視鏡検診については、その精度を高めるために二重読影を実施する。 ・がんと診断されたときからの緩和ケアの推進 ・がん登録の推進 ・個別検診導入により市民の利便性の向上を図る。 ・がん検診の必要性和システムを、より一層広く市民へ周知していく。 ・学術講演会の開催 ・がんに関する講演会を実施していく ・部会、懇話会、カンファレンスでのがん症例講演会、勉強会の実施 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、検診事業においては行政と連携し、市民の安全を最大限に考慮し事業を行っていく。 また、講演会については密を避けるため、オンラインでの開催を検討していく。
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・肺がん検診については、119の医療機関で31,287人を実施。二重読影会は年45回開催し19,406件を読影した。 ・大腸がん検診については、152の医療機関で36,857人を実施。 ・乳がん検診についてはセット検診16の医療機関で10,272人を実施。 ・子宮がん検診については、17の医療機関で23,591人を実施。 ・胃がん内視鏡検診については、57の医療機関で6,994人を実施。

	二重読影会は年42回開催し6,994件を読影した。 市民の検診機会の拡充と健康保持の推進に努めた。 ・地域がん診療連携拠点病院による市民公開講座を後援 ・部会、懇話会、カンファレンスでのがん症例勉強会等の実施 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、検診事業においては行政と連携し、市民の安全を最大限に考慮し事業を行っていく。 また、講演会については密を避けるため、オンラインでの開催を検討していく。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

〔蕨市医師会〕

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・乳がん検診及び精密検査精度向上のため、乳がんマンモグラフィー読影認定医を養成する。 ・蕨市民、戸田市民の胃がん検診と胃がん内視鏡検査の拡大。乳がん検診の充実。 ・埼玉県医師会主催の6がんセミナーへの参加 毎年、年度末に県民健康センターにてがん撲滅に向けてのセミナーを開催している、（胃、大腸、肝臓、子宮、乳腺、肺） ・地域がん診療連携拠点病院を中心とした近隣の中核病院と病院連携の会を開催する ・全面禁煙、空間分煙実施施設増加への推進
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	・肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん検診を市民に実施 ・肺がん、胃がん、胃がん内視鏡読影会の実施 ・胃がん読影勉強会の実施 ・埼玉県医師会主催のがんセミナーへの参加 ・がん拠点病院と連携し、緩和ケアセミナーの実施
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

〔川口歯科医師会〕

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・医師会とがん医療連携推進会議の開催(術前術後の口腔ケア) ・がん関連病院との連携推進 ・川口市口腔がん検診による口腔がんの早期発見の推進 ・川口市口腔がん検診受診者の増加 ・口腔がんの啓発のための市民公開講座の開催
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)

年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・川口市立医療センター、博慈会記念総合病院、東京医科大学病院等の歯科口腔外科とのがん連携 ・がん患者医療連携登録歯科医療機関を増やす ・口腔がん検診の受診率を増やすための周知活動 ・会員に対する口腔がん検診のための研修会を実施
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨市歯科医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・歯科医師会会員の診療所における禁煙・分煙の徹底。 ・国立がんセンター、埼玉県立がんセンターと連携し、がん患者の周術期口腔機能管理を行うための認定歯科医の増加。（研修1～3の終了者の増加） ・地元の病院との連携の会（研修会）への積極的な参加 ・ターミナルの患者さんに対する「口腔ケア」に対応するための研修会への参加による歯科医師のスキルアップ。 ・戸田中央病院からのがん連携紹介患者数の増加 ・川口医療センターへの連携登録医を増やす。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・国立がんセンター、埼玉県立がんセンター等と連携するために必要な知識を修得した、がん医療連携登録歯科医の増加を図るため、登録歯科医増加に向けて、埼玉県歯科医師会主催のDVDによる全国共通がん医科歯科連携講習会（WEB開催）への会員の参加を促した。 ・戸田中央病院とのがん医科歯科連携を進めるための体制が未だ十分とはいえない状況にある。今後、同病院との緊密な連携を構築するに当たって、がん患者の周術期口腔ケア、口腔管理の体制の強化をこれまで以上に積極的に進めていきたい。
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[川口薬剤師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・がん検診受診の啓発 ・薬局内及び敷地内全面禁煙の推進 ・がんに関する学術講演会の実施
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)

年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	- 開催及び参加した学術講演 - 令和5年4月2日「高齢者がん医療と薬薬連携」 6月29日「経口抗がん剤の服薬指導」 7月3日「高齢がん患者の未来予想図を共有する」 8月30日「抗がん剤治療による末梢神経障害のマネジメント」 11月29日「がん患者に関わるキーワードについて」 12月5日「膀胱がん予後改善を目指して」 12月7日「精神腫瘍科領域における緩和ケア療法について」 12月13日「症例解説 乳がん・前立腺がん」 12月16日「大腸がん薬物療法 HOTTOPICS」 - 令和6年3月8日「がん治療における発熱性好中球減少症とその注意点」
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨市地域薬剤師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	- 薬局内の全面禁煙 - 薬剤師会や他団体主催のがんに関する講習会への参加
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	喫煙率の低下がみられた
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市薬剤師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	医療機関薬剤師と連携し、がん患者の入院～退院～外来治療～在宅医療、各期における薬物治療のサポートを継続的に実施できる体制の構築 - 薬薬連携会議の強化、拡充 - がん患者へのサポート体制の構築 - がん領域の合同研修の実施 無菌調剤対応の会堂薬局の開設
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	禁煙啓発ポスターの掲示
自己評価	C (ほとんど達成できなかった)

[川口市保健所健康増進課・地域保健センター]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	がん検診受診率の向上		
		2020年度 (令和2年度)	2020年度～2023年度 (令和2年度～令和5年度)
	胃がん レントゲン検診	0.3%	前年度を上回る
	胃がん 内視鏡検診	3.8%	前年度を上回る
	肺がん・結核検診	8.1%	前年度を上回る
	大腸がん検診	9.5%	前年度を上回る
	子宮頸がん検診	13.1%	前年度を上回る
	乳がん検診	11.1%	前年度を上回る
・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業では、該当者へ無料クーポン券を配布 ・精密検査結果の把握を進める			
関連する指標	(現状を示す指標) がん検診受診者数		
	(目標とする指標) 上記のとおり		
年度ごとの取組実績 (令和5年度)		受診者数	受診率
	胃がん レントゲン検診	1,605人	0.5%
	胃がん 内視鏡検診	6,994人	5.1%
	肺がん・結核検診	31,287人	8.8%
	大腸がん検診	36,857人	10.3%
	子宮頸がん検診	23,591人	13.4%
	乳がん検診	10,272人	11.6%
	前立腺がん検診	1,161人	4.8%
※集団検診（検診車）における1時間あたりの最大受診人数			
集団検診		胃がん検診	乳がん検診
令和元年以前		24人	12人
令和2年以降		12～13人	9～10人
自己評価	B：半分程度目標が達成できた		

[蕨市保健センター]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間：	・「健康密度も日本一のまちへ」を目指して、第2次わらび健康アップ計画（2018～2022年度）に基づき、がん検診受診率の向上や禁煙対策等に取り組む。 【5年間の重点的な取組み（第2次わらび健康アップ計画より）】 ○がん検診の受診率向上に取り組む。 ・がん検診の個別化を進め、他の健診・検診の同時受診も図る。
--------------------------------	--

平成30年度～令和5年度	・公民館、地域、関係機関等と連携し、受診の重要性について普及啓発を図る。 ○禁煙を推進する環境整備を進める。 ・喫煙が身体に及ぼす影響などについての正しい知識の普及啓発を図る ・受動喫煙防止対策実施施設等認証制度及び禁煙外来、禁煙支援等による予防対策（喫煙による健康被害の回避）の推進 原則屋内禁煙の取組を飲食店や店舗など民間の施設に普及啓発を図る。
関連する指標	(現状を示す指標) がん検診受診率 (目標とする指標) がん検診受診率 肺がん：50%、胃がん：20%、大腸がん：25%、子宮がん：30%、乳がん：30%
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	・受診案内を全戸配布及び個別検診対象年齢である20歳以上の女性・40歳以上の男性に個別通知し普及啓発を図る。 ・禁煙推進の普及啓発 ・関係機関に敷地内・屋内禁煙の普及啓発 【令和5年度がん検診受診率：地域保健・健康増進事業報告】 肺がん：8.7% 胃がん：4.2% 大腸がん：6.4% 子宮がん：15.9% 乳がん：14.8%
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市福祉保健センター]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	① がん検診受診率の向上 ・対象者への個別通知の実施 ・回覧、広報、イベント、ホームページ、SNS等で周知 ・未受診者への受診勧奨 ② 精密検査受診率の向上 ・電話による受診勧奨 ③ 喫煙対策の実施 ・喫煙、受動喫煙防止対策の実施 ④ がん予防教育の実施 ⑤ がん啓発事業の実施
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの取組実績	① がん検診受診率の向上 ・対象者への個別通知の実施 81,319人に郵送 ・広報、ホームページ等で周知 ・未受診者への受診勧奨 初回通知を送付した者のうち、対象となるがん検診（前立腺を除く）を1つでも受診していない検診がある20歳、40歳、50歳、60歳、（年齢は令和

(令和5年度)	4年4月1日現在) に対して郵送 7,066人 ・受診率(令和5年度 地域保健・健康増進事業報告より) - 胃がん3.3%、肺がん12.5%、大腸がん8.6% - 子宮頸がん9.9%、乳がん8.1% ② 精密検査受診率の向上 ・精密検査未受診者(一次健診で要精密検査となっているが、3~4か月を過ぎても医療機関から精密検査結果連絡票が福祉保健センターに届いていない80歳未満の人)に対し、電話にて受診勧奨を行った。受診勧奨対象者(未受診者等)555人に対し、電話勧奨を880件行った(再電話含む) ③ 喫煙対策の実施 ・市内飲食店における「戸田市認定禁煙実施店」の登録店舗 現在88件 ④ がん啓発事業の実施 ・がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間(10月)に、健康情報ステーション(市内2か所)で啓発を実施 ・健康福祉の杜まつりにおいてがん啓発ブースを設営実施 782人参加 ・10月に市民向け公開講座がん講演会を実施 34人参加 ⑤がん患者とその家族の療養生活の質の向上事業 ・がん患者医療用補正具購入補助金 実績 31人 ・ターミナルケア在宅療養生活支援補助金 実績 0人
自己評価	A: ほぼ目標が達成できた

[埼玉県南部保健所]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間: 平成30年度~令和5年度	・健康増進法の一部を改正する法律のに基づき、埼玉県受動喫煙防止対策実施施設等認証制度を実施(令和元年6月1日から継続) ・認証制度及び条例に基づく届出について、保健所実施の会議や研修会等を通じ周知を図り、認証施設数の増加を図る。
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの取組実績(令和5年度)	・埼玉県受動喫煙防止対策実施施設等認証施設 令和5年度の認証数: 4施設 令和元年度からの累計数: 76施設 ・食品営業許可更新の際、来所者へ制度の周知(6回、50施設) ・食品衛生責任者実務講習会において周知(平成6年2月20日、84施設)
自己評価	A: ほぼ目標が達成できた

3 精神疾患医療

目 標	心の健康づくりを図るとともに、精神保健に係る相談体制の整備・充実を図ります。また、精神障害者が地域社会の一員として安心して自分らしい生活ができるよう、関係機関と連携し、地域生活支援体制づくりを目指します。
主 な 取 組	・精神保健福祉相談・訪問支援体制の強化 ・地域生活支援体制の整備 ・ひきこもり対策の推進 ・認知症対策の推進
実 施 主 体	医師会、市、保健所

[川口市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・自殺対策の推進 うつ病等に係る学術講演会等の開催 ・認知症対策の推進 認知症診療連絡協議会の運営 認知症に係る学術講演会等の開催（認知症対応力向上研修会など） ※新型コロナウイルス対策については「がん医療」と同様
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	・自殺対策の推進 うつ病等に係る学術講演会を開催した。 ・認知症対策 認知症診療連絡協議会を運営した。 認知症に係る学術講演会等を開催した。 埼玉県医師会主催の認知症診療対応力向上研修会に参加した。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨田市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・うつ病の診療、支援基盤の強化事業への協力 ・認知症疾患医療センターとの連携と協力 ・当医師会学術講演会でうつ病及び認知症等の講演会を開催する ・自殺予防のための研修会及び講習会を実施する
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	・認知症サポート医研修会への参加 ・認知症疾患医療センターと連携し、研修会への参加 ・学術講演会の開催「認知症」
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口歯科医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・障害者歯科相談医の登録見直しと研修会開催 ・重度心身障害者を治療するための口腔保健センター設立を川口市に要望 ・認知症対策として、県南在宅医療研究会（川口市医師会）との合同講習会
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	・川口市心身障害福祉センターわかゆり学園で歯科保健指導研修会を開催 ・障害者歯科相談医を増やす（現状30名程） ・心身障害者を治療するための口腔保健センター設立に向けての勉強会開催 ・障害支援区分認定審査会に歯科医師参加 ・埼玉県歯科医師会で開催される障害者歯科研修会への参加 ・埼玉県歯科医師会で開催される認知症対応力向上セミナーへの参加
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口市長寿支援課]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	第8期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において、「認知症施策の推進」は、新オレンジプランを基盤とした認知症施策推進大綱に沿った以下の取り組みを定めている。 <主な取り組み> （１）普及啓発・本人発信支援 （２）早期発見・早期対応の体制整備 （３）認知症の人の介護者への支援 （４）認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり
関連する指標	(現状を示す指標) 特になし
	(目標とする指標) 特になし
年度ごとの取組実績（令和5年度）	（１）認知症への理解を深めるための普及・啓発として「認知症サポーター養成講座」を開催。また、住民、小中学校、民間企業・団体へ開催を勧奨し、講師派遣、DVDの貸出し等を行っている。77回、受講者数2,624人。 地域包括支援センターが本人会を開催し、本人の意思発信や不安軽減を図った。 （２）認知症初期集中支援チーム2チーム体制にて地域包括支援センターと連携し、早期対応の強化を図った。 認知症ケアパス「認知症あんしんガイド」を、認知症の本人、家族の聞き取り、関係機関からの意見聴取を行った上で、活用しやすい指標として改訂した。また、認知症地域支援推進員が中心となって地域包括支援センターが、認知症ケアパスを地域のかかりつけ医、ケアマネジャー、職域等に配布し早期発見、早期対応の理解や関係機関間の連携支援を行った。 （３）地域包括支援センターにおいて、認知症カフェ、家族介護者教室の開催

	、家族の会の開催や支援を行い、介護者の負担軽減を図っている。また、認知症高齢者相談所では対応や医療・介護等個別相談支援を実施している。 (4) 認知症サポーターに対し、市主催のステップアップ講座（専門医の講義、本人家族の体験談、ロールプレイ等）及び地域包括支援センター主催のステップアップ講座を開催。15回、224人。市主催の講座では、活躍の紹介や活動を希望する者を地域包括支援センターへのつなぎを行った。地域活動を行う認知症サポーター449人。 認知症サポーターには、「かわぐち元気ナビ」情報配信サイトの登録を周知。登録者へ定期的に講座開催の案内、地域活動の紹介、ボランティア募集などの情報提供を行い、参加を呼びかけるなど、実際の地域活動につなげる取り組みを推進している。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口市保健所疾病対策課]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	(1) 精神保健福祉相談 電話・来所・訪問相談対応、受診援助の実施 (2) 精神保健福祉専門相談の実施 精神科医師や臨床心理士による相談の実施 (3) 家族支援事業の実施 精神障害者等の家族に対する教室やひきこもりの方の家族のつどいの実施 (4) 人材育成・普及啓発事業の実施 関係機関を対象に研修会や事例検討会の実施。また、市民を対象にこころの健康講座やこころサポーター養成講座の実施 (5) 自殺予防対策事業の実施 自殺予防に関する普及啓発やゲートキーパー研修を実施 (6) 精神障害者訪問支援強化事業（アウトリーチ事業）の実施 未受診や医療中断者等の精神障害者、精神障害の疑いのある方に対して多職種による支援を実施 (7) 若年者早期相談・支援事業の実施 若年層における様々な悩みや困りごとについて、早期の相談支援を実施
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	○精神保健福祉相談・訪問支援体制の強化 精神保健福祉相談 電話5,101件 来所394件 訪問1,145件 精神保健福祉に関する専門相談の実施 年間22回 延べ43件 精神障害者訪問支援強化事業の実施 利用者数60人 若年者早期相談・支援事業の実施 利用者数266人 こころの健康に関する講座の実施（オンデマンド配信）年間2回実施 ① こころの健康ってなんだろう（若者Ver.） 視聴回数 858回（3/29時点） ② 大人の発達障害

	視聴回数 1,424回（3/29時点） 家族教室の実施 ・統合失調症 3日間コース 延べ51人 ・アルコール依存症 3日間コース 延べ19人 自殺予防対策事業の実施 ゲートキーパー研修 年間4回 延べ290人 リーフレット等の配布、メンタルヘルスチェックシステムの運用等の普及啓発、自殺未遂者支援、自殺対策庁内連絡会議 ○地域生活支援体制の整備 こころサポーター養成講座 年間2回 59人 関係機関向け研修 年間2回 延べ129人 ○ひきこもり対策の推進 ひきこもり家族のつどい 年間12回 延べ111人 ひきこもり家族のつどい参加者研修会 年1回 10人・精神保健福祉相談・訪問支援体制の強化 精神保健福祉に関する専門相談の実施 年間30回 延べ55件 精神障害者訪問支援強化事業の実施 利用者数48人 若年者早期相談・支援事業の実施 利用者数180人 こころの健康に関する講座の実施（オンデマンド配信）年間2回実施 ① ゲーム・ネットとの付き合い方 視聴回数 1,878回（3/31時点） ② 仕事のストレスとどう向き合いますか？ 視聴回数 1,121回（3/31時点） 家族教室の実施 統合失調症 3日間コース 延べ33人 アルコール依存症 3日間コース 延べ24人 自殺予防対策事業の実施 ゲートキーパー研修 年間9回 延べ249人 リーフレット等の配布、メンタルヘルスチェックシステムの運用等の普及啓発、自殺未遂者支援、自殺対策庁内連絡会議 ・地域生活支援体制の整備 こころサポーター養成講座 年間1回 46人 関係機関向け研修 年間2回 延べ23人 ・ひきこもり対策の推進 ひきこもり家族のつどい 年間12回 延べ118人 ひきこもり家族のつどい参加者研修会 年1回 11人
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨市保健センター]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	「わらび健康アップ計画（2018～2022年度）」に基づき、休養・こころの健康（自殺対策を含む）を進めていく。 ○障害者福祉サービスの利用にあたっての相談支援体制の充実を図る。 ・こころの健康講座、家族教室の開催 ・自殺対策での、庁内関係課との連携体制を作る。 ・妊娠期からのこころの健康への支援体制の強化 →産後うつや愛着形成への相談支援 発達障害等への支援が必要な親子への相談支援（子の二次障害や親の育児ストレス等での精神疾患発症への予防） ・アウトメディアの推進（乳幼児～学童期・思春期） →市全体で、テレビやパソコンなどの電子メディアとの接触時間を減らし、親子の触れ合いやコミュニケーションの時間を増やす。 ・障害福祉サービス関係課及び相談支援事業所との連携体制を強化する。 ・研修、事例検討等により、対応スキルの向上を図る。 ○平成30年度に蕨市自殺対策計画を策定
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	・一般市民向けに広く開催する講座や個々のケースに応じた相談支援により対応 ・ゲートキーパー養成講座を実施 【令和5年度こころの健康講座（アルコール関連問題講演会）】 1回開催、51名参加 【令和5年度こころの健康相談】 11回開催、14名参加 【令和5年度ゲートキーパー養成講座（自殺対策事業）】 2回開催、56名参加 その他個々のケースに応じた相談支援により対応
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市福祉保健センター・障害福祉課]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	【福祉保健センター】 ・こころの健康相談の充実 ・福祉や医療機関等の関係機関との連携強化 ・精神障害等に対する正しい知識の普及 ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの協議 ・地域生活支援拠点の検討 ・認知症への理解を深めるための知識の普及・啓発の推進と支援体制の整備 【障害福祉課】 ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの協議 ・地域生活支援拠点の検討
関連する指標	(現状を示す指標)

	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	【福祉保健センター】 ・こころの健康相談を実施した。 相談人数：延べ923人 ・個別支援において、随時、関連機関（医療機関・障害者相談支援事業所・生活自立相談センター・南部保健所・地域包括支援センター・市役所各課等）と検討し、対応した。 ・ゲートキーパー研修を実施した。 （教職員向けゲートキーパー研修：47人、市職員向け：73人） ・こころの健康講演会については、南部保健所・蕨市と共催で実施。 （戸田市民17名） ・こころの体温計 アクセス数：15,401回（市民） ・市内3駅駅頭キャンペーン実施（2回） 【障害福祉課】 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」や「地域生活支援拠点」については、戸田市障害者地域自立支援協議会で検討し、検討結果をもとに戸田市障害者施策推進協議会で協議した。 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」については、ロードマップをアセスメントシートへ変更し、課題改善を実施した。「地域生活支援拠点」については、市内各事業所へ事業所登録を促進していくとともに、事業概要の具体化に取り組んだ。また、コーディネーター設置に向けて個々の役割を具体化した。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[埼玉県南部保健所]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	精神保健福祉相談・訪問支援体制の強化 ・措置入院者フォロー検討会の開催（1回／月） ・措置入院者の面接（随時） ・支援者スキルアップ研修の開催（1回／年） 地域生活支援体制の整備 ・精神障害者支援地域協議会代表者会議の開催（1回／年） ・地域包括ケアシステムに関する協議の場の開催（1回／年） ・地域包括ケアシステムに関する研修会（1回／年） ・薬物依存症家族のつどい（6回／年） ひきこもり対策の推進 ・ひきこもり専門相談（6回／年） ・ひきこもり講演会（1回／年） 認知症対策の推進 ・認知症疾患医療連携協議会への参加（2回／年） ・認知症ケースの同伴面接・同伴訪問（随時） 自殺予防対策の推進 ・ゲートキーパー養成に関する研修の開催（1回／年） ・依存症に関する研修会（1回／年）
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)

年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	(精神保健福祉相談・訪問支援体制の強化) ・措置入院者フォロー検討会の開催 20回(川口市保健所分含む) ・措置入院者の面接 50件 ・支援者スキルアップ研修会(依存症について考える)の開催 令和5年12月12日 参加者26名 (地域生活支援体制の整備) ・精神障害者支援地域協議会代表者会議の開催 令和6年1月29日 参加者27名 ・精神障害者地域支援体制構築事業実務担当者会議の開催 令和5年11月15日 参加者27名 ・精神障害者地域支援体制構築会議の開催 令和5年1月29日 参加者24名 ・薬物依存症家族のつどい 2回 参加者4名 (ひきこもり対策の推進) ・ひきこもり専門相談 4回 5件 ・ひきこもり講演会 令和5年10月31日 参加者35名 (自殺予防対策の推進) ・メンタルヘルス研修会(うつ病について考える)の開催 令和6年2月9日 参加者31名
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた)

4 感染症対策

目 標	感染症の発生に迅速に対応できるよう関係機関の連携体制の構築を図ります。 また、感染症に関する情報提供体制や相談体制の充実・強化を図ります。
------------	--

主 な 取 組	・感染症に関する検査・相談体制の充実 ・感染症対策に関する研修や訓練の実施 ・感染症対策の体制整備
----------------	---

実 施 主 体	医師会、歯科医師会、薬剤師会、市、保健所
----------------	----------------------

[川口市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・学術講演会の開催 川口市医師会主催の感染症関連の学術講演会を開催し専門知識を深める。 ・感染症サーベイランス 小児科の感染症サーベイランスを実施し、その内容を川口市医師会のホームページに掲載する。 ・埼玉県感染症発生動向調査事業 内科、小児科、泌尿器科、産婦人科の指定届出機関を推薦していく。 ※当会では新型コロナウイルス感染症対策については公衆衛生部主導のもと、埼玉県、埼玉県医師会、川口市保健所と連携し、感染拡大防止に努める。
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	・学術講演会を開催 川口市医師会主催の感染症関連の学術講演会を開催し専門知識を深めた。 ・感染症サーベイランス 小児科の感染症サーベイランスを実施し、その内容を川口市医師会ホームページに掲載した。 ・埼玉県感染症発生動向調査事業 内科、小児科、泌尿器科、産婦人科の指定届出機関が事業に参画した。 ・新型コロナウイルス感染症対策については公衆衛生部主導のもと、埼玉県、埼玉県医師会、川口市、川口市保健所と緊密に連携し（川口市及び川口市保健所と対策会議を実施。その他臨時会議、ZOOM会議を実施）会員に協力いただき、ワクチン接種について個別接種を鋭意行った。 また、会員医療機関にて感染者の診療及び検査を行った。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨田市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・感染症対策に関する研修会の実施 ・感染症発生の際、関係機関との連携体制の強化
--	--

関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・ 新型インフルエンザ等の流行の際に、南部保健所、蕨市保健センター、戸田市福祉保健センターとの連携を強化する ・ 南部保健所で開催の感染症対策会議への参加 ・ 内科、小児科、眼科、産婦人科の指定届け出機関を推薦する
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口歯科医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・ 梅毒の感染拡大に伴い、「口腔・咽頭部における病変」に関する研修会を会員向けに行う。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・ 川口市保健所との連携強化 ・ 各医院で行った健康診査に基づき、保健所へ結核感染状況の報告推進 ・ 寛解期のHIV感染者の歯科医療を受け入れる医療機関の確認 ・ 梅毒の感染拡大に伴い、「口腔・咽頭部における病変」に関する研修会を会員向けに行う。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨市歯科医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・ 医療従事者に対しての健康診断実施時の血液検査等。 ・ 感染症対策の専門の講師を招いての講習会参加及び実習。 ・ 針刺し、切創事故発生後の対応確認と事故報告書の作成。 ・ 感染症対策マニュアル作成。 ・ 感染汚染物質の専門処理業者への廃棄の委託の周知。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・ コロナウイルス感染症・インフルエンザ感染症に対する予防対策の徹底。 ・ 医療従事者の予防接種実施の推進。 ・ 医療従事者の健康診断実施の推進。 ・ 感染症対策講習会参加の推進。 ・ 感染症対策マニュアル作成。 ・ 感染汚染物質の専門処理業者への廃棄の委託の周知。 ・ コロナウイルス感染症に対する予防対策の徹底。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口薬剤師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 平成30～令和5年度	・感染症に関する学術講演の実施及び参加 ・感染症予防の啓発
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・開催及び参加した学術講演 令和6年1月27日「HIV感染症と保険薬局薬剤師」 2月27日「災害時における感染症対策について」
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[蕨市地域薬剤師会]

具体的な取組 とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・薬剤師会、他団体による感染症対策に対する研修会の参加 ・手洗い及び手指消毒のための設備や備品を整備し、調剤前後に必ず実施 ・分包材などの医療機器に関して、適切な清掃を定期的に行う
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	手洗い、うがい、マスク等がなされた
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[戸田市薬剤師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	相談体制の充実 ・薬局窓口における相談体制の強化 体制整備 ・流行やパンデミックの監視体制の構築 ・医薬品の流通及び備蓄体制の構築 ・関係各機関との連携、情報交換体制の構築 ・夜間休日対応の会営薬局の開設
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・学校薬剤師による感染予防指導 ・コロナ禍で行った感染対策についての学術講演会 ・抗原検査キットの薬局での販売・指導 ・医薬品の安定供給 ・薬局における感染対策グッズの販売
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口市保健所疾病対策課]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	(1) 感染症 ・感染症発生動向調査 ・HIV、性感染症検査 ・感染症発生訓練の実施 (2) 結核 ・DOTS事業 ・接触者健診、管理健診の実施 ・結核予防費助成事業 (3) 肝炎 ・肝炎治療費助成事業（県への進達事業） ・肝がん、重度肝硬変治療研究促進事業 ・肝炎重症化予防事業 (4) 普及啓発
関連する指標	(現状を示す指標) 結核罹患率 10.9% DOTS実施率100% (目標とする指標) 結核罹患率 8.2% (国) DOTS実施率95%以上
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	(1) 感染症 ・感染症発生動向調査（全数報告1,523件、定点報告31,536件【1月～12月】） ・HIV、性感染症検査 1) 通常検査：月1回（HIV221人、梅毒223人、B型肝炎218人、C型肝炎214人） 2) 休日検査：年1回（HIV・梅毒42人） ・感染症発生訓練（防護服着脱訓練、マスクフィットテスト実技） (2) 結核 ・DOTS事業（新規登録結核患者数114人潜在性結核感染症を含む）DOTS実施率100% ・結核接触者健診（延べ701人） ・結核管理検診（延べ420人） (3) 肝炎 ・肝炎治療費助成事業：県への進達業務（新規62件、更新376件） ・肝炎重症化予防事業（フォローアップ通知数41人） (4) 普及啓発 ・HIV検査普及週間、世界エイズデー（ポスター掲示、ポケットティッシュ配布） ・結核予防週間（ポスター掲示、ボールペン配布）
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨市保健センター]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	「蕨市業務継続計画＜新型インフルエンザ等編＞」に基づき業務を遂行
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	・感染症対策に関する研修会、担当者会議への参加
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市福祉保健センター]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	① 感染症対策に関する研修や訓練の実施 ・新型インフルエンザ等対策訓練実施 ② 感染症対策の体制整備 ・緊急連絡網の整備（メーリングリスト更新） ・新型インフルエンザ等の対策の強化 ・庁内会議の開催 ・市のHP・広報・ツイッター・フェイスブック等 ・小中学校、保育園等への周知
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	① 感染症対策に関する研修や訓練の実施 ・新型インフルエンザ等対策訓練実施 前年度に引き続き、新型コロナウイルスが国内で蔓延していたため、訓練ではなく本番として対策に取り組んだ。 ② 感染症対策の体制整備 ・新型インフルエンザ等の対策の強化 高齢者インフルエンザ予防接種について周知し、11,970件の接種実績をあげた ・市のHP・広報・ツイッター・フェイスブック等での情報発信 主に市のHPにおいて最新情報を発信し、また季節の変わり目には広報でも周知した ・小中学校、保育園等の関係部署への周知 就学時健診の際に予防接種に関するお知らせを同封するなど、適宜連携をして、感染症対策のための周知を行った。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[埼玉県南部保健所]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 平成30～令和5年度	感染症に関する検査・相談体制の充実 ・性感染症検査の実施（HIV、梅毒、クラミジア、B型肝炎、C型肝炎） 1回／月 ・HIV即日検査の実施 1回／月 ・感染症に関する相談 随時 感染症対策に関する研修や訓練の実施 ・管内感染症担当者連携会議 1～2回／年 ・防護服着脱訓練 1回／年 ・感染症研修会 1回／年 感染症対策の体制整備 ・管内感染症担当者会議 年1回 ・管内市担当者緊急連絡網の更新 1回／年 ・感染症発生時の連絡訓練 1回／年（国、県、保健所、医療機関） （毎年11月頃）
関連する指標	（現状を示す指標） （目標とする指標）
年度ごとの 取組実績 （令和5年度）	（感染症に関する検査・相談体制の充実） ・性感染症検査の実施（HIV、梅毒、クラミジア、B型肝炎、C型肝炎） 1回／月 ・HIV即日検査の実施 1回／月 ・「世界エイズデー」に伴う啓発、臨時性感染症検査（12月2日） ・看護学校への健康教育（12月12日、18日） ・感染症に関する相談 随時 （感染症対策に関する研修や訓練の実施） ・防護服着脱訓練 1回（感染症対策地域連携の会と共催） ・高齢者・障害者施設に対する研修会 2回／年 ・「社会福祉施設における感染症発生時の報告」通知に基づき健康観察。 必要時現地調査。 （感染症対策の体制整備） ・管内感染症担当者会議 1回 ・管内市担当者緊急連絡網の更新
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

5 新型コロナウイルス感染症対策

目 標	感染拡大を未然に防ぐとともに、感染者発生時に迅速に対応できるよう関係機関の連携体制の構築を図ります。 また、感染症に関する情報提供体制や相談体制の充実・強化を図ります。
------------	---

主 な 取 組	・相談、診療・検査、医療・療養体制の充実 ・感染症対策の体制整備 ・感染予防対策の普及啓発
----------------	---

実 施 主 体	医師会、歯科医師会、薬剤師会、市、保健所
----------------	----------------------

[川口市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・新型コロナウイルス対策については公衆衛生部主導のもと、埼玉県、埼玉県医師会、川口市保健所と連携し、感染拡大防止に努める。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行政と連携し、市民の安全を最大限に考慮し事業を行った。 ・診療・検査、医療・療養体制の充実、感染症対策の体制整備、感染予防対策の普及啓発について行政と連携し、公衆衛生部主導のもと感染拡大防止に努めた。 ・基本毎週月曜日に川口市及び川口市保健所と対策会議を実施。その他臨時会議を実施した。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨田市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・感染症対策に関する研修会の実施 ・感染症発生の際。関係機関との連携体制の強化 ・県指定診療・検査医療機関の拡充
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	・埼玉県指定診療・検査医療機関の拡充により、診療・検査体制の強化 ・新型コロナウイルス感染症ワクチンの医療機関による個別接種
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口歯科医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・パンデミック時の対策本部設置運営訓練と関係機関との連携 ・院内感染予防管理に関する研修会の開催 ・集団歯科健診時の感染予防に対する啓発活動 ・発熱がなくとも疑いがあれば、始業前に抗原検査キットで確認
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績(令和5年度)	・川口市保健所との連携強化 ・新型コロナウイルス感染症に関する最新情報の共有 ・新型コロナウイルス感染症の院内感染を防止するための会員啓発指導 ・新型コロナウイルス抗原検査キット(体外診断用医薬品)の備蓄
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨戸田歯科医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・地域の自治体・消防・医療機関等で連携し、必要な情報を的確に提供できる体制を作り、新型コロナウイルス感染症に関する最新情報の共有を図る。 ・新型コロナウイルス感染症の院内感染を防止するため、会員の啓発指導を行い、予防対策を徹底する。 ・医療従事者のワクチン接種実施を推進する。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績(令和5年度)	・地域の自治体・消防・医療機関等で連携し、必要な情報を的確に提供できる体制を作り、新型コロナウイルス感染症に関する最新情報の共有を図る。 ・新型コロナウイルス感染症の院内感染を防止するため、会員の啓発指導を行い、予防対策を徹底する。 ・医療従事者のワクチン接種実施を推進する。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口薬剤師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、 平成30～令和5年度	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の啓発活動 ・医療用抗原検査キットの供給 ・新型コロナウイルス感染症に関する学術講演会の実施及び参加
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績(令和5年度)	・医療用抗原検査キットの販売 ・新型コロナウイルス感染症に関する学術講演会の実施及び参加 令和5年4月26日「5類移行でどうなる？日常診療とCOVID-19」
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[蕨市地域薬剤師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・県民への抗原キット検査薬の安定供給 ・患者の移動を極力抑えるため、内服薬等の配達・指導を行う
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	対応できた。ただ、検査キットの供給があった。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[戸田市薬剤師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	相談体制の充実 ・薬局窓口における相談体制強化 体制整備 ・流行やパンデミックの監視体制の構築 ・医薬品の流通及び備蓄体制の構築 ・抗原検査キット等の備蓄体制の構築 ・関係各機関との連携、情報交換体制の構築
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	・学校薬剤師による感染予防指導 ・コロナ禍で行った感染対策についての学術講演会 ・抗原検査キットの薬局での販売・指導 ・医薬品等の安定供給 ・薬局における感染対策グッズの販売
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口市保健所疾病対策課]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・委託、派遣を活用した療養支援体制の実施 ・委託による検体搬送、移送の実施 ・感染拡大防止のため、クラスターが発生した高齢者施設等への施設調査及び助言 ・新型コロナウイルス感染症公費負担医療費の適正な実施 ・市民への広報やホームページ等による普及・啓発（基本的な感染対策、感染流行状況）
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績	・委託、派遣を活用した療養支援体制の実施（4/1～5/7一部5/31まで実施）

(令和5年度)	・委託による検体搬送、移送の実施（4/1～5/7） ・感染拡大防止のため、クラスターが発生した高齢者施設等への施設調査及び助言 ・新型コロナウイルス感染症公費負担医療費の適正な実施 ・市民への広報やホームページ等による普及・啓発（基本的な感染対策、感染流行状況）
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨市保健センター]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・検査・医療体制の充実として、感染拡大時に各種蕨市緊急コロナ対策事業を実施 ・感染症対策の体制整備として、蕨市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置、新型コロナワクチン接種体制の確立 ・感染症予防対策として、広報・ホームページを活用した、市内感染状況、感染対策に関する啓発
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	・新型コロナワクチン接種体制の確立 ・広報、ホームページを活用した市内感染状況、感染対策に関する情報提供 【令和5年度新型コロナウイルスワクチン接種者数】 1回目：50名 2回目：71名 3回目：257名 4回目：712名 5回目：6,401名 6回目：12,200名 7回目：8,266名 合計：27,957名
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市福祉保健センター]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	① 感染症対策に関する県との連携 ・自宅療養者支援 ② 感染症対策の体制整備 ・庁内会議の開催 ・新型コロナウイルス感染症の対策の強化 ・市のHP・広報・ツイッター・フェイスブック等による市民への情報提供、周知・啓発
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	・新型コロナウイルス対策本部会議を開催（書面） ・新型コロナウイルスワクチン接種の推進

	新型コロナウイルスワクチン接種対策室でワクチン接種の推進に取り組み、接種率の向上を図った。 ・自宅療養者に対するパルスオキシメーターの貸出し 新型コロナウイルスへの感染による自宅療養者に対して、パルスオキシメーター貸出しを56件実施 ・市内事業所に対する抗原検査キットの配布 1件
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[埼玉県南部保健所]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、平成30～令和5年度	新型コロナウイルス感染症に関する相談、診療・検査、医療・療養体制の充実 ・各相談窓口と連携した相談 随時 ・大型連休時等の診療・検査医療機関の調整（5月、8月、年末年始） ・適切な受診・入院調整、宿泊療養調整、患者搬送 随時 ・各支援機関と連携した健康観察 随時 感染症対策の体制整備 ・防護服着脱訓練 1回（感染症対策地域連携の会と共催） ・新型インフルエンザ等感染症地域別会議 1回／年 ・管内市担当者緊急連絡網の更新 1回／年 ・施設間の連携体制づくり支援 随時 感染症予防対策の普及啓発 ・施設等を対象とした研修会の実施 1回／年 ・施設等へ向けた情報提供 随時
関連する指標	（現状を示す指標） （目標とする指標）
年度ごとの取組実績 （令和5年度）	【令和5年5月7日まで】 新型コロナウイルス感染症に関する相談、診療・検査、医療・療養体制の充実 ・各相談窓口と連携した相談 随時 ・適切な受診・入院調整、宿泊療養調整、患者搬送 随時 ・各支援機関と連携した健康観察 随時 【令和5年5月8日から】 高齢者福祉施設への対応 ・施設での患者発生時に連絡を受け、訪問等で助言。訪問15施設。 ・施設向けの感染症対策研修会を開催 2回／年 【年度をとおして】 感染症対策の体制整備 ・防護服着脱訓練 1回（感染症対策地域連携の会と共催） ・新型インフルエンザ等感染症地域別会議（管内感染症連絡会議と同時開催） 1回 感染症予防対策の普及啓発 ・施設等を対象とした研修会の実施 2回 令和5年5月8日新型コロナウイルス感染症が感染症法5類へ移行したため、対応が変更になった。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

6 災害時医療

目 標	大規模災害が発生した場合には、限られた医療資源を最大限有効に活用し、発災後の時間経過に応じた適切な医療を提供します。 そのため、平常時から災害を念頭に置いた関係機関や団体との連携体制を構築します。
------------	---

主 な 取 組	・災害時対応マニュアル等の策定 ・災害時医療に関する研修や訓練の実施 ・災害時医療連携体制の強化 ・地域災害保健医療対策会議等の開催 ・災害時における保健衛生活動体制の整備 ・事業継続計画（BCP）の策定
----------------	---

実 施 主 体	医師会、歯科医師会、薬剤師会、市、保健所
----------------	----------------------

[川口市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・健康危機管理体制の充実、強化 ・各種勉強会の開催、参加 ・川口市主催の防災訓練に参加
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	・災害医療都市担当理事会に参加した ・JMAT研修に参加した ・川口市主催の防災訓練に参加した ・災害時対応マニュアル策定に関する取組 ・健康危機管理体制の充実、強化 ・各種勉強会の開催、参加 ・川口市及び川口市保健所と対策会議を実施 その他臨時会議、ZOOM会議を実施した
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨田市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・戸田市平日夜間・休日急患診療所に非常用発電機を設置し、大規模災害時の拠点とする。 ・災害時の初期救急医療班を構築し訓練を実施し、実際に活動できるようにする。 ・蕨市、戸田市、保健所、消防等の関係機関と災害時の救急医療体制を協議する。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)

年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・災害時の通信手段としてMCA無線（トランシーバー）を医師会と蕨市、戸田市、蕨市・戸田市消防本部及び、蕨、戸田市内の救急病院に配備し、災害時に備える。 ・蕨市、戸田市、南部保健所、消防等の関係機関と災害時の救急医療体制を協議し、研修会等に参加する。 ・蕨市総合防災演習の応急救護訓練に医師と看護師が参加する
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口歯科医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・災害時連絡手段の一つ携帯電話一斉メール配信システム「eメッセージ」の充実 ・川口市総合防災訓練への参加、医療救護及び身元確認訓練 特に医療救護は、災害コーディネーターの医科の先生方との連携 ・災害時歯科医療に関する研修会の開催
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・防災連絡網の更新 ・川口市総合防災訓練への参加、医療救護及び個人識別訓練の実施 ・埼玉県防災連絡協議会への参加
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨戸田歯科医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・災害時歯科活動マニュアルを作成し全会員に配布及び内容の告知。 ・災害時安否確認システムを構築し、各医療機関の被害状況の把握及び診療可能かどうかの確認。 ・安否確認システムを利用した訓練の実施。 ・年1回の県警、歯科医師会、医師会、消防、行政等参加の防災訓練 歯科医療救護活動訓練の実施。 ・歯科医療救護活動のための必要備品の備蓄。 ・災害時歯科医療のための講習会及び実習の実施。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・関係機関、団体(保健所、市町、医師会、薬剤師会、医療機関等)と「顔の見える関係」を形成し情報収集、共有体制を整備する。 ・埼歯災害時安否確認システムの参加会員を増やす。 ・災害時歯科医療備蓄品の確認と整備。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口薬剤師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、 平成30～令和5年度	・災害時医療に関する学術講演会の実施及び参加 ・災害時対応の訓練の実施 ・災害時の会員安否確認システム運用の充実
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績(令和5年度)	・災害に関する学術講演会の実施及び参加 令和5年6月27日「今からはじめるBCP」 8月30日「災害医療における地域連携の現状と今後の課題と思われること」 令和6年1月30日「自治体と歩む埼玉県透析の災害対策」 2月27日「薬剤師による災害支援活動の実績」 ・令和5年11月4日 川口市立医療センター・川口薬剤師会合同災害訓練の実施 ・令和6年3月1日 災害用大容量蓄電池の設置 ・令和6年3月31日 災害用医療従事者(薬剤師)ベスト作製
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨市地域薬剤師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・災害時医療に関する研修会への参加 ・災害時、被災地への派遣 ・災害時対応マニュアル等の策定 ・災害時医療連携の体制強化
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績(令和5年度)	特になし
自己評価	C：ほとんど達成できなかった

[戸田市薬剤師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	発災直後から急性期にかけて地域防災計画と連動して行動する仕組の構築 ・被災時を想定した連絡網の作成 ・戸田市防災課、医療センターとの連携 ・協定の再定義 ・受援体制の確立と役割分担 ・災害時拠点、備蓄センターを兼ねた会館薬局の開設 薬局間で連携を取り、相互に補完しながら早期に通常業務を再開できるようにする仕組みの構築 ・会員薬局への事業継続計画(BCP)の策定の支援
--	--

関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	- 災害拠点薬局の整備 - 災害医療研修への参加 - 南部保健医療圏地域災害保健医療調整会への参加 - 緊急連絡網の整備・対応マニュアルの検討 - 緊急連絡網の整備 - 学術研修講演会 「薬剤師の災害時支援活動」 「能登半島地震での支援活動と地域における防災への取り組み」
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[川口市保健総務課・保健所管理課]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	- 市総合防災訓練「災害対策本部訓練」への参加 - 埼玉県南部地域保健医療圏・地域災害保健医療調整会議（平時版）への参加 - 市防災計画の改訂（平成30～令和4年度・毎年度末） - 南部保健医療圏災害時小児周産期医療体制情報伝達訓練への参加
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	- 市総合防災訓練「災害対策本部訓練」への参加 - 埼玉県南部地域保健医療圏・地域災害保健医療調整会議（平時版）への参加 - 南部保健医療圏災害時小児周産期医療体制情報伝達訓練への参加
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨市保健センター]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	平成26年度策定の「蕨市地域防災計画」に基づき、研修会への参加や所内の訓練の実施
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	- 市主催の防災訓練への参加 - 市主催の避難所運営協議会への参加
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市市民医療センター]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・関係機関と協議を行い、現行の災害時対応マニュアル等の見直しを行う。 ・保健所等が実施する災害時医療に関する研修や訓練に積極的に参加するとともに、関係機関による訓練を実施する。 ・災害時医療体制の整備のため、関係機関による会議を必要時開催する。 ・関係機関と協議を行い、災害時における保健衛生活動体制を整備する。 ・救護所機能を強化するために、医薬品や食糧、毛布等の備蓄及び可搬式発電機の配備を行う。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	・災害時医療に関する会議や研修に参加し、関係機関との連携推進を図った。 ・水害時における訓練を実施し、初動体制の向上を図った。 ・救護所の訓練として、トリアージ及び陰圧テント設置の訓練を実施し、職員の対応能力の向上を図った。 ・戸田市地域防災計画の更新に伴い、BCPの見直しを行った。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[埼玉県南部保健所]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・地域災害保健医療調整会議の設置及び開催 令和元年度～ 継続 ・南部保健所所内体制整備（健康危機管理マニュアルの更新、備蓄物品・防災無線等の整備、職員訓練の実施） 平成30年度～ 継続 ・健康危機管理研修（感染症対策を含む）の実施 平成30年度～ 継続 ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）入力訓練の実施 平成30年度～ 継続 ・管内市をはじめとする関係機関主催の会議、研修等への参加及び協力 平成30年度～ 継続 ・医療機関向けBCP（業務継続計画）策定支援研修 平成30年度～ 継続 ・医療機関向け医療安全研修（防火、防災等を含む）
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)

年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・南部保健医療圏地域災害保健医療調整会議の開催 令和5年11月9日(木) 議事 (1) 埼玉県災害時連携病院の指定について - ア 埼玉県の災害時医療体制について - イ 埼玉県災害時連携病院の制度について - ウ 指定申請医療機関からの説明 (2) 埼玉県南部保健医療圏地域災害保健医療調整会議設置要綱の一部改正について (3) 地域災害保健医療調整会議委員に対する事務局からの連絡について 報告 (4) 南部保健医療圏地域災害保健医療対策会議の設置場所等(令和2年度承認事項)について (5) 南部保健医療圏災害時小児周産期医療体制検討委員会及び訓練について ・健康危機管理訓練 令和5年10月27日(金) 14:00~16:00 ・地域災害保健医療調整会議委員への通信連絡訓練 令和5年10月26日(木)(会議2週間前) 10:00実施 ・南部保健医療圏災害時小児周産期医療体制訓練 令和5年11月24(金) 18:00~19:30実施 済生会川口総合病院 ・EMIS(広域災害救急医療情報システム)入力訓練 令和5年4月26日、8月27~28日、12月20~22日実施 ・PEACE(日本産科婦人科学会大規模災害対策情報システム)入力訓練 令和5年4月26日、8月27~28日、12月20~22日実施 ・所内職員対象の災害用機材、防災無線等の使用訓練 令和5年6月29日(金)、7月7日(金)朝霞保健所と合同通信訓練 令和5年10月24日(火)所内災害時時備蓄品・防災無線確認等訓練 令和5年11月29日(水)保健所~保健医療政策課通信訓練 ・所内健康危機管理マニュアルの更新 随時(6月実施)
自己評価	A: ほぼ目標が達成できた

7 在宅医療の推進

目 標

在宅での療養を希望する患者が、住み慣れた地域で必要な医療を受けるため
(1)在宅療養に向けた入退院支援 (2)日常の療養生活の支援 (3)急変時の対応
(4)患者が望む場所での看取りを目指し、地域における医療や介護の多職種連携
を図りながら、24時間体制で在宅医療が提供される体制を構築します。

主 な 取 組

- ・地域における入退院支援の充実
- ・在宅医療に関する各種情報の公表・提供
- ・多職種連携による患者・家族支援の推進
- ・医療・介護関係者の研修会の開催
- ・在宅医療・介護に関する相談の充実
- ・地域住民への普及啓発

実 施 主 体

医師会、歯科医師会、薬剤師会、市、保健所

[川口市医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・在宅医療の推進 在宅医療部会における講演会の実施 県南在宅医療研究会の開催（介護事業者、ヘルパー等との連携方策、勉強会等の実施） ・川口市在宅医療サポートセンターの運営 地域の方々が住み慣れた地域で安心して在宅医療が受けられるよう、在宅医療・療養に関する相談に対応し、在宅医療の連携拠点としてさらなる充実を図る。 ・川口脳卒中地域連携研究会、県南在宅医療研究会（がん患者等）、認知症診療連絡協議会を「川口地域包括ケア連絡協議会」として統合し、患者にとって切れ目のない医療・介護サービスの充実を図る。
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・在宅医療部会の開催 ・川口市在宅医療サポートセンターを運営し、一般市民やケアマネージャーからの相談に迅速に対応した。 ・第2回川口市医師会地域包括ケア学会を開催 令和5年11月12日 ・令和5年度人生の最終段階における医療ケアに関する勉強会を開催 令和5年9月8日 令和5年10月13日 令和5年10月16日 令和5年10月19日 令和5年10月24日 令和6年2月28日 ・川口市医師会地域緩和ケア勉強会を開催 令和6年3月5日 ・人生の最終段階における医療ケアに関する勉強会を開催 令和6年3月19日
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨戸田市医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・当医師会の訪問看護ステーションと周辺の訪問看護ステーションの連携の推進 ・県南在宅研究会に参加し、在宅医療活動を行っていく ・蕨、戸田市地区介護保険施設と医療機関との連携の推進 ・多職種連携の研修会、交流会の実施 ・在宅医療の提携と連携に関する実態調査への協力 ・県医師会在宅医療研修会への参加 ・ACPの普及・啓発 ・緩和ケアの充実
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・在宅医療拠点窓口 医療・介護の相談 各市の協議会・研修等に参加し啓発活動を行う 往診医の登録・リスト化 在宅医療支援ベッドの確保…5箇所の協力病院が輪番で対応 ・ICTによる医療、介護連携の推進 ・多職種連携の推進 「連携ネットCafé」zoomにて開催 ・埼玉県南部地域保健医療・地域医療構想協議会 在宅医療部会への参加 ・南部保健医療圏 難病対策地域協議会への参加
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口歯科医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・多職種と連携強化し地域包括ケアシステムの拠点づくりを推進する ・川口きゅうぼろリハビリテーション病院との連携（摂食嚥下リハビリ）
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和5年度)	・在宅歯科医療推進拠点窓口(川口訪問歯科センター)の充実 ・訪問看護ステーションとの連携 ・川口市地域包括ケア会議への参加 ・自立支援型地域ケア会議への参加 ・包括支援センターとの連携強化 ・MCS(メディカルケアステーション)の活用 ・多職種と連携強化し地域包括ケアシステムの拠点づくりを推進する ・市内の病院で退院時アセスメントを行い、通院できない患者さんの退院後のフォローアップを図る ・川口きゅうぼろリハビリテーション病院との連携（摂食嚥下リハビリ）
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨戸田歯科医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・埼玉県歯科医師会開設の「在宅歯科医療連携推進窓口」連携による供給の拡大を図る。それに対しポスターおよびパンフレットを用いて啓発を行う。 ・地域連携の方法の一つとして、MCSを有効利用していく。 ・在宅歯科診療を行う歯科医院増加のための一助として、訪問歯科診療に必要な装備の充実を図る。 ・必要不可欠な、そしてより安全な在宅歯科診療を行うために、該当研修会への参加による歯科医師のスキルアップを図る。 ・歯科医師会として、在宅療養支援診療所に協力できる体制の構築を行っていくことに関する情報の収集を行い、該当チームづくりを行う ・地域包括ケア会議に積極的に参加し、蕨市・戸田市における包括ケアの必要性を多職種で考えていくよう努力する。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	埼玉県歯科医師会開設の「在宅歯科医療連携推進窓口」連携による供給の拡大を図った。それに対しポスターおよびパンフレットを用いて啓発を行なった。 ・地域連携の方法の一つとして、MCSの利用が増加した。 ・在宅歯科診療を行う歯科医院増加のための一助として、訪問歯科診療に必要な装備の購入を行った。 ・より良質な在宅歯科診療を行うために、研修会の開催、学会参加による歯科医師のスキルアップを図った。 ・病院における拠点DHのアセスメント拡大のための啓発を行った。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口薬剤師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・在宅医療に関する学術講演会の実施及び参加 ・在宅医療に関する薬局情報の公開 ・地域包括ケアシステム構築への協力
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	・在宅医療に関する学術講演会の実施及び参加 令和5年6月7日「薬剤師が関わるべき在宅医療の第一歩と活動の実際」 11月14日「在宅介護現場における脱水症の評価と対応」 令和6年3月14日「助けを求められない人を支援する突破口となりうる医師のアウトリーチ」 ・在宅医療支援薬局リスト（令和5年度版）を作成し関係機関に配布すると共に会HPへUP ・地域包括ケア会議へ会員講師の派遣
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[蕨市地域薬剤師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・在宅医療研修会への参加 ・多職種における研修会への参加 ・在宅を行える薬局の充実化 ・地域包括支援センター運営協議会への参加 ・地域包括ケアシステムへの参加連携
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	医師、ケアマネと協力して介護・在宅を積極的に行った。
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市薬剤師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	在宅調剤応需薬局数の充足 ・在宅担当薬剤師情報交換会の実施 ・在宅関連研修の実施 ・薬局向け相談窓口の設置 ・多職種向け窓口の設置 地域包括ケアシステムへの参加 ・地域包括ケアシステム推進会議への参加 ・地域包括ケアセンター、蕨戸田在宅医療支援センターとの連携 ・市民相談窓口の設置 在宅医療支援体制の強化 ・無菌調剤室を備えた会堂薬局の開設
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	・地域包括ケア会議への参加 ・フレイル予防のためのクイズスタンプラリーの開催（10月） ・新曽元気サロンへの参加 お薬相談 ・薬薬連携研修会実施（戸田中央病院薬剤部・戸田市薬剤師会共催） 「在宅に関する診療・調剤報酬について」 「保険薬局における在宅医療の実践」 ・家族介護教室への講師派遣 ・連携ネットCaféへの参加、講師派遣 ・南部地域保健医療協議会在宅医療部会の参加 ・南部保健医療圏 難病対策地域協議会への参加 ・自立支援型地域ケア会議への助言者派遣 ・MCS(メディカルケアステーション)の活用 ・医療介護連携ネットワーク会議への参加
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口市疾保健所疾病対策課]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	○多職種連携による患者・家族支援の推進 ・南部保健医療圏難病患者等地域支援連絡会の開催 ・南部保健医療圏難病対策地域協議会の開催 ※南部保健医療圏（南部保健所・川口市保健所所管区域） ○医療・介護関係者の研修会の開催 ・難病相談支援者研修を実施 ○医療相談事業の実施 ・専門医による市民向け難病医療講演会の開催 ・情報紙「難病相談係だより」の作成及び配布
関連する指標	(現状を示す指標) 特になし (目標とする指標) 特になし
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	・南部保健医療圏難病患者等地域支援連絡会の開催（令和5年11月22日） ・南部保健医療圏難病対策地域協議会の開催（令和6年1月31日） ※南部保健医療圏（南部保健所・川口市保健所所管区域） ・難病相談支援者研修「指定難病に係る医療給付制度について」YouTubeオンデマンド配信による限定公開（令和5年5月1日～6月26日） ・医療相談事業の実施 ① 医療講演会「膠原病ってどんな病気？」会場開催（令和6年1月15日） ② 情報紙「難病相談係だより(内容：進行性核上性麻痺)」の作成及び配布（令和6年2月）
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口市長寿支援課]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	第8期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において、「在宅医療・介護連携の推進」として、医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に利用できるようにするため、第7期計画より継続し以下の取り組みを実施し、関係者の連携と支援体制整備を進めるよう定めている。 （１）地域包括ケア連絡協議会による課題の検討 （２）ＩＣＴによる医療・介護関係者間の情報連携の推進 （３）在宅医療サポートセンターによる相談支援 （４）在宅医療・介護関係者の研修
関連する指標	(現状を示す指標) 特になし (目標とする指標) 特になし
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	（１）地域包括ケア連絡協議会幹事会の開催。入退院支援ルールを活用状況の把握、ルール運用の課題を抽出し、より円滑な運用に向けて見直しを検討。（6月7日、8月29日、10月18日、1月16日、3月26日） （２）地域包括ケア連絡協議会幹事会において、医療介護専用SNS「メディカルケアステーション」の運用方法を協議。 （３）地域包括ケア連絡協議会幹事会において川口市在宅医療サポートセンターの相談内容等を報告。課題等について検討。引き続き在宅医

	療サポートセンター主催にて多職種連携の研修会を開催（11月6日、2月2日、2月27日） （4）南部保健所・蕨市・戸田市との共催により「在宅医療講演会」（10月12日 上戸田地域交流センター）、「多職種連携の会」（1月23日 戸田市文化会館）を開催。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

〔蕨市健康長寿課〕

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・医師会、歯科医師会、薬剤師会や介護保険事業者等、在宅医療と介護に携わる関係者が参加する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状と課題を抽出しその対応策等の検討を行う。 ・在宅医療・介護関係者からの相談窓口である蕨戸田市在宅医療支援センターの運営を蕨戸田市医師会へ委託し、医療・介護関係者からの相談の受付及び情報提供並びに関係者間の連携支援を行う。 ・医療・介護関係職種を対象とした多職種研修会を行い、在宅医療と介護の連携について理解を深めるとともに、地域で高齢者支援に携わる専門職同士の顔の見える関係づくりが進むよう支援していく。 ・在宅での看取りや在宅医療・介護サービスに関する市民向けの講習会等を実施し、普及啓発に努めていく。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	・戸田市と合同で、第1回「医療・介護連携ネットワーク会議」を令和5年8月に開催。在宅医療・介護連携の進捗や入退院支援ルールについて報告、検討した。第2回は令和6年2月に書面開催し、在宅医療講演会、多職種連携の会や蕨戸田市在宅医療支援センターの報告等を行った。 ・介護保険事業者マップ/在宅医療機関マップを作成し、市窓口での配布、ホームページでの公開を行った。 ・戸田市と合同で入退院支援ルールを策定し、令和5年4月から運用を開始。説明動画を公開した。 ・南部保健所、川口市、戸田市、埼玉県南部地域保健医療協議会在宅医療部会との共催により、令和5年10月に市民向けの「在宅医療講演会」を実施した。 ・南部保健所、川口市、戸田市、埼玉県南部地域保健医療協議会在宅医療部会との共催により、令和6年1月に医療介護関係者向けの「多職種連携の会」を実施した。 ・蕨戸田市在宅医療支援センターを中心としてZoomを用いて医療・介護職を対象とした「連携ネットカフェ」を不定期開催した。 ・人材バンク事業を活用し、ACP普及・啓発講座を5回実施した。
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市健康長寿課]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	在宅医療・介護連携推進事業における（ア）～（ク）の8項目の事業に取り組みながら、医療・介護関係者間の顔の見える関係づくりを進める。 （ア）市内医療機関・介護保険事業所情報のリスト化 （イ）医療・介護連携ネットワーク会議の開催 （ウ）在宅療養支援ベッドの確保。往診医や患者情報の登録 （エ）ICTシステム（メディカルケアステーション（MCS））の利用促進 （オ）蕨戸田市在宅医療支援センターとの連携強化 （カ）医療・介護関係者の研修会の開催（保健所・川口市・蕨市共催） （キ）市民向け講演会の開催（保健所・川口市・蕨市共催） （ク）二次医療圏域での情報共有。研修・講演会の共同開催
関連する指標	（現状を示す指標） （目標とする指標）
年度ごとの 取組実績 （令和5年度）	・埼玉県医療機能情報提供システムが終了したため、代替として厚生労働省医療情報ネットナビへのリンクを市ホームページに掲載し、地域の必要な医療情報を共有、活用できるようにした。 ・蕨市と合同で年に2回「医療・介護連携ネットワーク会議」を開催した。（第2回は書面開催） ・蕨戸田市在宅医療支援センターを中心に、多職種連携に係る研修会や交流会を開催した。また、健康長寿課は開催にあたり周知を行った。 医療・介護連携ネットカフェ：3回 緩和カフェ：4回 ・南部保健所、川口市、蕨市との共催により、市民向けの「在宅医療講演会」を開催した。（令和5年10月12日） ・南部保健所、川口市、蕨市との共催により、専門職向けの「多職種連携の会」を開催した。（令和6年1月23日） ・戸田市、蕨市、蕨戸田市在宅医療支援センター、南部圏域担当地域リハビリテーション・ケアサポートセンター、蕨市社会福祉協議会、戸田市社会福祉協議会と共同による市民を対象としたACPの普及・啓発も兼ねた「まちづくりの会」を開催した。（蕨の部：令和5年10月5日、戸田の部：令和5年11月2日） ・人材バンク事業を活用し、地域包括支援センター等でACP普及啓発講座を実施した。（戸田市内では3回） ・入退院支援ルール運用に向け、説明動画を作成し、市ホームページにおいて情報公開を行った。 ・蕨戸田市医師会所属の協力22医療機関とともに社会的処方取組を開始した。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[埼玉県南部保健所]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・多職種連携による患者・家族支援の推進 ・南部保健医療圏（埼玉県南部保健所・川口市保健所管区域）難病対策地域協議会の設置（平成30年11月1日設置） ・医療・介護関係者の研修会の開催 ・南部地域保健医療・地域医療構想協議会在宅医療部会の開催 ・多職種連携の会 関係職員及び専門職向け研修会 ・市民向け在宅医療講演会
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	・南部地域保健医療協議会在宅医療部会の開催 令和5年5月15日（月）南部保健所大会議室 13:30～14:30 議題 （1）各機関における在宅医療の取組について （昨年度と比較して連携が進んだこと、新たな取組等） （2）令和5年度在宅医療部会における取組について 多職種連携の会および市民向け講演会の計画案 ・市民向け在宅医療講演会 令和5年10月12日（木）14:00～16:00 上戸田地域交流センター あいパル テーマ「いつまでも若さを保つ口腔ケア～素敵な笑顔で明るい人生を～」 講師 はねだ歯科クリニック 羽根田 高洋 院長 戸田中央リハビリテーション病院 言語聴覚士 遠藤 智美氏 ・多職種連携の会 関係機関及び専門職向け研修会 令和6年1月23日（火）14:00～16:00 体験談「私の体験談～連携あるある～」 講師 みつわこまち介護相談室 介護支援専門員 浅野 直美氏 ワークショップ「体験の振り返りを通して、これからの連携について考える」
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

8 医薬品等の安全対策

目 標	県民の命と健康を守るため、品質の高い、安全な医薬品等の流通を目指します。 また、医薬品等の効能効果、用法用量及び副作用等の正しい情報を県民に提供し、適正使用を推進するとともに、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用を促進して、優れた医療保険制度を次世代まで継続することに貢献します。
------------	--

主 な 取 組	・ 薬局、医薬品販売業者等に対する監視指導の実施 ・ 医薬品等の正しい知識の普及啓発 ・ かかりつけ薬剤師・薬局の活用等の推進 ・ ジェネリック医薬品の使用促進 ・ 薬物乱用対策の推進 ・ 毒物劇物製造業者等に対する監視指導の実施
----------------	--

実 施 主 体	医師会、薬剤師会、市、保健所
----------------	----------------

[川口市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・ 埼玉県薬物乱用防止指導員の推薦 ・ 川口薬剤師会主催の市民公開講座に講師を派遣 ・ 川口市福祉部と協力しジェネリック医薬品の使用促進に努める。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	・ 埼玉県南部保健所管内薬物乱用防止指導員協議会に参画した。 ・ 川口薬剤師会主催の市民公開講座に講師を派遣した。 ・ 川口市福祉部と協力しジェネリック医薬品の使用促進に努めた。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨田市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・ ジェネリック医薬品の使用促進の研修会の実施 ・ 薬物乱用防止キャンペーンへの参加
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績（令和5年度）	・ 向精神薬の処方に関しての注意喚起 ・ 薬物乱用防止キャンペーンへの参加
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口歯科医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・「薬剤関連顎骨壊死」を防ぐための三師会による「骨と歯の健康を考える会」を継続して連携強化を図る
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績(令和5年度)	2023年7月28日 第2回骨と歯の健康を考える会開催 2024年1月19日 第3回骨と歯の健康を考える会開催 本会の会員による「医科との連携の在り方」に関する発表あり
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨戸田歯科医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・ジェネリック医薬品の使用促進を図る。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績(令和5年度)	・ジェネリック医薬品の使用促進について周知した。
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[川口薬剤師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・地域及び学校で医薬品等の正しい使用方の普及、啓発 ・かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の推進 ・埼玉県薬物乱用防止指導員の推薦及び防止活動の実施 ・医薬品等の安全対策に関わる学術講演会の実施及び参加
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績(令和5年度)	・埼玉県薬物乱用防止指導員活動への会員の派遣 ・会員学校薬剤師の医薬品等の正しい使用法指導への支援 ・医薬品等に関する学術講演会の実施及び参加 令和5年7月5日「ポリファーマシー対策について」 7月25日「薬剤師が実践できる睡眠薬の多剤併用解消に向けた取り組み」 令和6年1月23日「睡眠補助に使用される薬物の種類とそのメカニズム」
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[蕨市地域薬剤師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・医師との連携や患者からのインタビューやお薬手帳の内容の把握等を通じて患者がかかっているすべての医療機関や服用薬を一元的・継続的に把握し、重複投与・ポリファーマシーのチェックをはじめとする薬学的管理・指導を実施 ・医薬品、医療機器等安全性情報報告制度等への参加 ・学校薬剤師による医薬品の適正使用教育に関する啓発活動 ・ジェネリック医薬品の使用率を80%にする
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績(令和5年度)	ジェネリック医薬品の使用率が80%を超えた
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[戸田市薬剤師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	子供から高齢者まで継続した「医薬品」教育の実施 ・市民向け医薬品適正使用啓蒙活動 ・児童、生徒に対しての学校薬剤師による教育活動 ・アンチドーピング活動 ・ジェネリック医薬品普及活動 ・薬物乱用対策 ポリファーマシー、過剰残薬の解消 ・かかりつけ薬局推進 ・お薬手帳の普及活動 ・ブラウンバック運動
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績(令和5年度)	・健康まつりでのお薬相談 ・スポーツファーマシストのアスリートの相談応需 ・TODA元気体操会場でのミニ講座（お薬手帳、かかりつけ薬局） ・医薬品流通状況調査 ・TODA元気ふっかつ体操への講師派遣 ・処方箋偽造事案の情報共有と対応
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[川口市保健所管理課]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・市内の薬局や医薬品販売業等に対し、定期的に監視指導を実施します。 ・市広報誌や保健所ホームページ等を活用して、市民に対して医薬品に関する正しい情報を提供します。 ・県南部保健所及び南部保健所管内薬物乱用防止指導員協議会が実施する薬物乱用防止啓発活動に協力します。 ・県及び県薬剤師会主催の「薬物乱用防止啓発ポスターコンクール」を後援し、市内の児童生徒に対して参加を広く呼びかけます。 ・市内の毒物劇物販売店や業務上毒物劇物を取り扱う施設に対して、定期的に監視指導を実施し、毒物劇物による事件事故が生じないように注意喚起を行います。 ・毒物劇物の取扱に係るリーフレットを作成し、市民へ毒物劇物の適切な使用や管理を呼びかけます。
関連する指標	(現状を示す指標) 毒物劇物を原因とする健康被害件数、薬事関係施設監視件数
	(目標とする指標) 毒物劇物を原因とする健康被害件数、薬事関係施設監視件数
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	・薬事関係施設監視指導件数 475件 ・広報かわぐちへの記事掲載 3回(5、6、10月号) ・保健所広報(けんこうぎ)への記事掲載 1回(11月) ・「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金への協力 ・薬物乱用防止啓発ポスターコンクール応募数(応募学校数) - 小学生の部 2点(1校) - 中学生の部 119点(7校) - 高校生の部 5点(1校)
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨市保健センター]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・ポスター等掲示による啓発活動の実施
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和5年度)	・ポスター掲示等による薬物乱用対策の推進
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市保険年金課]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	【具体的な取組】 戸田市国民健康保険加入者のレセプトデータから、ジェネリック医薬品に切り替え可能な先発薬が処方されている者で、切り替えた場合の効果額が300円以上となる者を対象に、年2回ジェネリック医薬品利用差額通知を発送 【スケジュール】 平成30年度から令和5年度の各年度において、年2回以上通知を発送（平成25年度から実施している）
関連する指標	（現状を示す指標）ジェネリック医薬品数量シェア 令和5年度平均85.0% （目標とする指標）ジェネリック医薬品数量シェア 80%以上
年度ごとの取組実績（令和5年度）	令和5年度において、年2回通知を行った。 10月通知 278名 3月通知 166名
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[埼玉県南部保健所]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間： 平成30年度～令和5年度	・薬局等（薬局、薬局製剤製造・製造販売業、店舗販売業、卸売販売業、再生医療等製品販売業、医療機器販売業等）の監視指導 100件以上(通年) ・薬物乱用防止対策の推進 講習の実施及び講師派遣 3回/年以上（通年） 啓発キャンペーンの実施 1回/年以上（6～8月） ・毒物劇物製造業者等（製造業、輸入業、一般販売業、農業用品目販売業、特定品目販売業）の監視指導 15件以上（通年）
関連する指標	（現状を示す指標） （目標とする指標）
年度ごとの取組実績（令和5年度）	・薬局等の監視指導 99件の監視指導を実施した。 ・薬物乱用防止対策の推進 ①学校で実施される薬物乱用防止講習会に、南部保健所管内薬物乱用防止指導員を2回派遣した。 ②5月に薬物乱用防止指導員を対象に講習会を実施した。 ③6月に薬物乱用防止啓発キャンペーンを実施した。 ・毒物劇物製造業者等の監視指導 農林部と合同で実施していた監視指導は運用見直しのため実施せず、19件の監視指導を実施した。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた